

ふくしま道徳教育資料集について

福島県教育委員会では、「ふくしま道徳教育資料集【補訂版】」を作成しています。震災を経験した福島県の子どもたちに命の尊さ、思いやり、家族・郷土の大切さ等について深く考えさせたいという思いで作成されたものです。

ふくしま道徳教育資料集【補訂版】



第 集
生きぬく・いのち



第 集
敬愛・つながる思い



第 集
郷土愛・ふくしまの未来へ

「まえがき」には、「今後も風評や風化との戦いが続くものと思われませんが、震災の記録を語り継ぎ、福島県民にとって大切なものは何かを考える機会として、この資料集を手にとりいただく場が増えることを願っています。」とあります。

本県にも震災を経験し避難をしている子どもがいます。被災についての経験の有無に関わらず、被災を経験された方々の気持ちや思いを考えられる子どもたちを育てていかなければなりません。

教材例 「それでも僕は桃を買う」（第 集より）



放射性物質がついているかもしれないという福島県産の桃をもとに差別のない世界の実現を訴える主人公の心情を考えることを通して、身近な差別や偏見に気付き、正義を重んじ公正で公平な社会について考えを深めていくという教材です。

この資料集には震災に関わる多くの教材があり、福島県教育庁義務教育課のホームページからダウンロードすることができます。また、ダウンロードした教材を授業等で活用することについて、福島県教育庁義務教育課から許諾を得ています。皆がともに生きていく営みを支える道徳性を養うために、道徳の時間や朝会の講話等で御活用ください。

【ホームページ】

福島県教育庁義務教育課（<http://www.gimu.fks.ed.jp/>）